



ものづくり × デジタル ➡ 待ったなし！

中部産業連盟主催

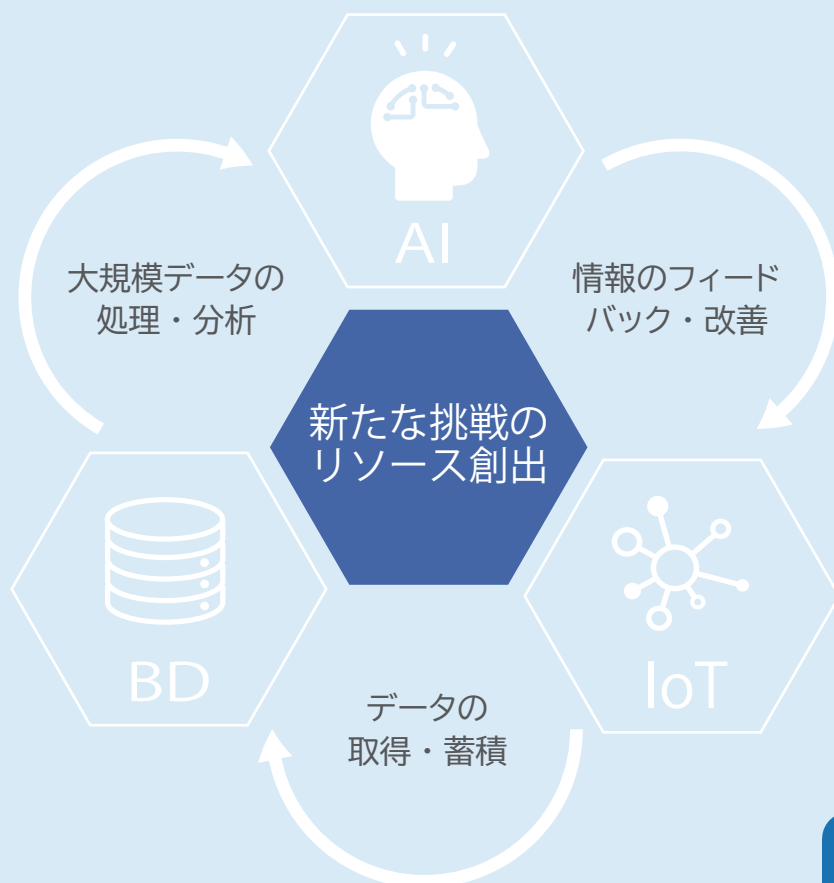
ものづくり ITブリッジ 人材育成プログラム[第6期]

2025年10月6日(金) 開講 2026年2月まで

全7回

定員:10名

ものづくり企業の経営と現場最前線の橋渡し【ブリッジ】の役割を担う
IT・データ活用に強い人材を育成・専門性向上を目指すプログラム 始動！



 Reスキル講座

<研修の特徴>

将来の成長が強く見込まれ、雇用創出への貢献が期待されているIT・データ分野で実機を用いた演習や企業訪問などを通して、デジタルによるものづくりの効率化を現地現物で学ぶことができます。

ものづくり ITブリッジ人材とは

<目指す姿>

IT・データを中心とした分野における技術や手法等を活用して、
業務上の課題の発見と解決をリードする＋後進育成にも貢献できる人材を目指します
個のデジタル力 × 他者を巻き込み成果を刈り取るマネジメント力

<企業向け>厚生労働省の教育訓練支援制度等との連携

人材開発支援助成金の支給

Re スキル講座を従業員に受講させた場合、令和4年度から5年間は、人への投資促進コースにおいて訓練経費や訓練期間中の賃金の一部について、通常よりも高い助成率・助成額で助成金が受けられます。

助成率 / 助成額

	中小企業	大企業
経費助成	75%	60%
賃金助成	960円	480円/1人1時間あたり



日程

テーマ

内容

受講者の声

PROGRAM 1

10/6 Mon.

デジタルによるものづくりの変革 AtoZ

- ・ものづくりITブリッジ人材像の理解
- ・生産工程の把握「鳥の目」編
- ・模擬ラインを使った改善演習

① オリエンテーション

- ・ブリッジ人材とは
- ・時代の潮流への対応
- ・求められる技術/スキル

② 生産工程の把握

- ・現場管理とは
- ・製造現場のムダ
- ・稼働分析

③ 改善の着眼点

- ・製造現場の改善における時間分析
- ・設備改善、生産活動におけるロス
- ・工程分析と改善

④ 模擬ラインの改善【演習】

- ・問題点の洗い出し
- ・改善の実践
- ・改善案のまとめ

- 🏠 ものづくり現場の視点で必要な情報を認識することができた
- 🏠 模擬ライン演習は手を動かしながらしっかり考えることができて、理解が深まった

PROGRAM 2

10/20 Mon.

- ・IT技術をフル活用する着眼
- ・データ活用の実際
- ・現場の把握「虫の目」編（人・設備・品質）

① IT技術の歴史と技術革新

- ・産業革命の歴史とIT
- ・IoTの基盤技術
- ・人工知能AIの基礎技術

② データの活用

- ・データの活用の重要性和注意点
- ・現場管理とIT活動

③ 人の生産性

- ・見える化技術
- ・管理面の自動化

④ 設備の自動化・保全

- ・設備総合効率と見える化

⑤ 品質の管理・保証

- ・検査の自動化
- ・スマート工場を目指した改善

- 🏠 難しいところもあったが、動画などを多用した講義で理解が進んだ
- 🏠 具体例が豊富でわかりやすく、実際に活用できそうなツールを紹介して頂けた

PROGRAM 3

11/10 Mon.

- ・デジタル活用最前線の現場見学
- ・データ活用における運用課題ワークショップ

①② デジタル活用現場見学 @先進ものづくり企業

- ・会社概要紹介
- ・現場での稼働状況把握ツールの説明
- ・経営者の考え方と現場への展開

③④ ワークショップ

- ・PROGRAM1, 2の講義内容を踏まえて明確化した自社の課題・方向性の共有
- ・事前に設定した見学の着眼点、注意点についての感想、質疑
- ・運用面での課題検討

- 🏠 実際に活用できそうなツールを紹介して頂けた
- 🏠 事例紹介が多くよくわかった

PROGRAM 4

12/1 Mon.

ロジスティクス サプライチェーンのデジタル化

- ・最新物流倉庫に学ぶ
- ・自社の物流/SCの問題の考察
- ・PROGRAM1~3の振り返り

①② 物流面でのデジタル利活用を最前線の現場で確認

- ・事前に明確化した自社の物流問題を踏まえて見学、質疑

③ ワークショップ

- ・物流/サプライチェーンの諸問題にデジタルを如何に活かすか

④ ここまでの振り返り

- ・デジタルによる改善を実践することを想定したテーマ選定



PROGRAM 5

12/22 Mon.

最新技術による間接業務変革

- ・定型業務改善に即効「RPA」を体験的に学ぶ
- ・AI、クラウドサービスの最前線から自社の間接業務改善の糸口を探る「魚の目」編

① RPAの実際

- ・RPAの有効性
- ・業務改善のポイント
- ・RPA活用事例

② RPAを使ってみる

- ・【演習】業務改善を体感してみる
- ・自社業務で活用した場合の運用と期待効果

③④ 業務改善に貢献する最新デジタル技術の紹介

- ・AIの実際と課題
- ・事例から学ぶAI活用のコツ（プロンプト・エンジニアリングなど）
- ・クラウドサービスの最前線

- 🏠 RPAについて抱いていたイメージが講義により具体化できた
- 🏠 早速社内の業務に適用して改善したい

PROGRAM 6

2026 1/19 Mon.

リスク対応を考えたプロジェクト全体統括／実行計画の立案

- ・情報セキュリティ、投資回収、プロジェクト管理でリスクを低減し、スムーズなPJ推進を実現する「心の目」編
- ・実行計画の立案

① IoT導入にかかる情報セキュリティ

- ・情報セキュリティの現状と課題
- ・被害事例からの考察

② 費用対効果の検証

- ・IT投資の評価方法
- ・IT投資効果の確認方法
- ・【個人ワーク】定着度確認

③ リスクを回避するプロジェクト管理

- ・要求仕様と機能整理

④ 事前課題発表とアドバイス

- ・改善のステップ確認
- ・企画書(改善シート)にまとめた計画を発表、コンサルタントが助言

- 🏠 事例も多くわかりやすかった
- 🏠 情報セキュリティについては専門ではないがデジタル化の中で避けては通れない問題だとわかった

PROGRAM 7

2026.2.16(Mon.)

実践報告会
(2ヶ月間の実践成果報告)

▼報告会



▼演習



全7回

ものづくり ITブリッジ人材育成プログラム

PROGRAM 1	デジタルによるものづくりの変革 AtoZ ①／生産工程の把握「鳥の目」編 2025年10月6日(月) 会場:中産連ビル研修室
PROGRAM 2	デジタルによるものづくりの変革 AtoZ ②／現場の把握「虫の目」編(人・設備・品質) 2025年10月20日(月) 会場:中産連ビル研修室
PROGRAM 3	デジタルによるものづくりの変革 AtoZ ③／デジタル活用最前線の現場見学 2025年11月10日(月) 会場:先進ものづくり企業様(現場訪問)
PROGRAM 4	ロジスティックス(工場内運搬、出荷、物流など)／サプライチェーンのデジタル化 2025年12月1日(月) 会場:先進物流企業様(現場訪問)／近隣会場
PROGRAM 5	最新技術(RPA、AI、クラウドサービス)による間接業務変革 2025年12月22日(月) 会場:中産連ビル研修室
PROGRAM 6	リスク対応を考えたプロジェクト全体統括／実行計画の立案 2026年1月19日(月) 会場:中産連ビル研修室
PROGRAM 7	実践報告会 2026年2月16日(月) 会場:中産連ビル研修室

中産連コンサルタント陣が、
具体的な現実問題に
フォーカスして寄り添い、ご助言し、
総力を上げて受講者並びに所属企業様を
ご支援します。

▶ いずれも9:30～16:30開催

受講いただきたい方

自社のものづくりの諸問題や課題(足元のQCD等にかかわる焦眉のものから、未来の価値創造に向けた革新的なものまで)を、デジタルの力で解決・達成する使命を背負った人材にお薦めします。年齢、階層は問いません。

受講料

中産連会員:250,000円(税込275,000円) 中産連会員外:270,000円(税込297,000円)

申し込み方法

中部産業連盟HPまたは右記QRコードよりホームページ申込フォームにアクセスいただき、必要事項をご記入の上、お申し込みください。



主 催



一般社団法人 中部産業連盟

中産連

〒461-8580 名古屋市東区白壁 3-12-13

一般社団法人 中部産業連盟 生産・業務革新推進部 浦野

TEL: 052-931-9825 Email: jms@chusanren.or.jp